令和８年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書
（令和７年度対象）

令和８年１１月
人吉市教育委員会

目　　次

＜はじめに＞ ―― 1
人吉市教育委員会の構成（令和８年１０月１日現在）
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）
１　教育委員会の活動及び運営状況
(1) 教育委員会の概要 ―― 2
○教育委員会の目的 ―― 2
○人吉市教育委員会委員（令和７年度） ―― 2
(2) 教育委員会の主な活動内容 ―― 2
○教育委員会の活動状況 ―― 2
○教育委員会会議 ―― 3
① 会議の開催状況（令和７年度実績）
② 審議状況
（ア） 付議案件数
（イ） 会議に付された主な案件
○総合教育会議 ―― 3
① 会議の開催状況（令和７年度実績）
② 協議状況
③ 会議に付された主な案件
○教育長及び教育委員の活動 ―― 3
① 所管施設訪問状況
（ア） 学校訪問
（イ） 他の主な会議・行事等
２　点検及び評価の目的 ―― 12
３　学識経験者の知見の活用 ―― 12
○学識経験者
４　点検及び評価の対象 ―― 12
○人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業
５　点検及び評価の結果 ―― 13
(1) 総合評価基準 ―― 13
(2) 点検評価シート（８事業）
人吉市学校施設ＬＥＤ照明器具賃貸借事業 ―― 14
医療的ケアを要する児童生徒への看護師派遣事業 ―― 16
学校給食事業 ―― 18
人吉市地域学校協働本部事業 ―― 20
スポーツ施設整備事業 ―― 22
犬童球渓顕彰音楽祭事業 ―― 24
人吉城歴史館運営事業 ―― 26
人吉市童話発表大会 ―― 28

《基本理念》《教育目標》 ―― 30

＜はじめに＞

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第１項の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、令和７年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会の構成

（令和８年１０月１日現在）

教育長	志波　典明
委　員 （教育長職務代理者）	大園　恭幸
委　員	永田　ミキ
委　員	岡本　麻美
委　員	松岡　誠也

地方教育行政の組織及び運営に関する法律≪抜粋≫

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1　教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〔教育委員会の目的〕

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないとなっています。

本市においては、人吉市総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努めています。

〔人吉市教育委員会委員〕　（令和７年度）

役職名	氏名	就任	任期満了
教育長	志波　典明	令和3年7月1日 令和6年7月1日再任	令和9年6月30日
委　員 (職務代理者)	大園　恭幸	令和4年4月10日 令和8年4月10日再任	令和12年4月9日
委　員	永田　ミキ	平成28年10月1日 令和7年1月1日再任	令和10年12月31日
委　員	岡本　麻美	令和3年10月1日 令和7年10月1日再任	令和11年9月30日
委　員	松岡　誠也	令和7年7月1日	令和11年6月30日

(2) 教育委員会の主な活動内容

〔教育委員会の活動状況〕

教育委員会の活動としては、教育長、教育委員４名で、小学校６校、中学校３校、計９校の学校参観を行いました。引き続き教育現場の声を活かした教育行政を推進していきます。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を１３回開催し、審議事項３４件、承認・協議事項等１３件について審議等を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定しました。

今後も「広報ひとよし」や市ホームページを利用し、定例の教育委員会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指していきます。

〔教育委員会会議〕

① 会議の開催状況（令和７年度実績）

会　議	開催数	傍聴者数
定例会	12　回	3　名
臨時会	1　回	0　名

② 審議状況

（ア）付議案件数

審議事項	34　件
承認・協議事項等	13　件

（イ）会議に付された主な案件

- 人事案件について
- 規則・要項の制定及び改正について
- 一般会計予算について
- 人吉市学校運営協議会委員等の任命について
- 教育委員会の点検及び評価について

〔総合教育会議〕

① 会議の開催状況（令和７年度実績）

会　議	開催数	開催月
総合教育会議	1　回	3　月

② 協議状況

協議事項	教育長及び教育委員出席状況
3　件	5　名

③ 会議に付された案件

- 人吉市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について
- 人吉市の中学校部活動地域展開について
- 今後の小中学校の在り方について

〔教育長及び教育委員の活動〕

① 所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区　分	対　象	期　日	教育長及び教育委員 出席状況
小学校訪問	6校	令和7年7月～11月	延べ 28人
中学校訪問	3校		延べ 15人

（イ）他の主な会議・行事等

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
1	臨時的任用教職員辞令伝達式	令和7年4月1日　（火）	1名
2	球磨管内教職員辞令交付式	令和7年4月1日　（火）	1名
3	教職員人事異動に伴う辞令伝達式	令和7年4月1日　（火）	5名
4	新規採用教職員スタートアップミーティング	令和7年4月2日　（水）	1名
5	学校保健推進合同会議	令和7年4月4日　（金）	1名
6	入学式（小・中学校）	令和7年4月9日　（水）	5名
7	人吉市スポーツ推進委員協議会総会	令和7年4月11日　（金）	1名
8	市内校長会議	令和7年4月14日　（月）	1名
9	人吉市食育推進委員会	令和7年4月14日　（月）	1名
10	人吉球磨人権教育研究協議会　第1回代表者会議	令和7年4月15日　（火）	1名
11	教育長・校長合同会議	令和7年4月18日　（金）	1名
12	第1回市内教頭・主幹教諭会議	令和7年4月21日　（月）	1名
13	人吉市子ども会育成連絡協議会総会	令和7年4月23日　（水）	1名
14	第66回人吉市民早起きソフトボール大会開会式	令和7年4月24日　（木）	1名
15	東西コミセン定期総会	令和7年4月25日　（金）	1名
16	大畑校区公民館総会	令和7年4月25日　（金）	1名
17	人吉市立教育研究所総会	令和7年5月1日　（木）	1名
18	中原校区公民館総会	令和7年5月10日　（土）	1名
19	小・中学校体育祭（第一中・第二中）	令和7年5月11日　（日）	1名
20	犬童球渓顕彰音楽祭協議会（第1回）	令和7年5月14日　（水）	1名
21	全国都市教育長協議会定期総会	令和7年5月15日　（木）	1名
22	小・中学校体育祭（第三中・大畑小）	令和7年5月18日　（日）	1名
23	西瀬校区公民館総会	令和7年5月18日　（日）	1名
24	人吉市奨学生選考委員会（第1回）	令和7年5月19日　（月）	1名

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
25	人吉球磨人権教育研究協議会　第2回代表者会議	令和7年5月20日　（火）	1名
26	カルヴァーリョ・ラッソ人吉　総会	令和7年5月20日　（火）	1名
27	市内校長会議	令和7年5月21日　（水）	1名
28	人吉市人権教育推進連絡協議会　第1回運営委員会	令和7年5月21日　（水）	1名
29	教育長・校長合同会議	令和7年5月22日　（木）	1名
30	球磨郡町村教育委員会連絡協議会研修会	令和7年5月23日　（金）	3名
31	小学校運動会（東間小・西瀬小）	令和7年5月24日　（土）	1名
32	小学校運動会（人吉西小）	令和7年5月25日　（日）	1名
33	「第16回おどんな日本一」全国少年剣道大会	令和7年5月25日　（日）	1名
34	人吉球磨地域租税教育推進協議会総会	令和7年5月26日　（月）	1名
35	熊本県市町村教育委員会連絡協議会定例会	令和7年5月28日　（水）	1名
36	人吉市人権教育推進連絡協議会　総会・研修会	令和7年5月29日　（木）	1名
37	令和7年度ＮＰＯ法人人吉市体育協会通常総会	令和7年5月29日　（木）	1名
38	第23回ひとよし温泉マラソン第1回役員会	令和7年5月30日　（金）	1名
39	人吉球磨総合美展運営委員会（第1回）	令和7年5月30日　（金）	1名
40	人吉市青少年育成市民会議　総会	令和7年5月31日　（土）	1名
41	大畑校区公民館成人講座開講式	令和7年5月31日　（土）	1名
42	西瀬校区公民館成人講座開講式	令和7年6月2日　（月）	1名
43	第1回人吉市特別支援連携協議会	令和7年6月3日　（火）	1名
44	第1回人吉市教育支援委員会	令和7年6月3日　（火）	1名
45	寄附金贈呈式	令和7年6月4日　（水）	1名
46	幼・保等、小、中連携会議	令和7年6月6日　（金）	1名
47	中原校区公民館成人講座開講式	令和7年6月7日　（土）	1名
48	第22回熊本県中学剣道優勝大会	令和7年6月8日　（日）	1名
49	西瀬校区公民館子ども講座開講式	令和7年6月14日　（土）	1名

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
50	学校運営協議会（第一中）	令和7年6月17日　（火）	1名
51	人吉球磨地区特別支援連携協議会	令和7年6月19日　（木）	1名
52	市内教務主任会議	令和7年6月20日　（金）	1名
53	学校運営協議会（人吉西小）	令和7年6月20日　（金）	1名
54	第23回ひとよし温泉マラソン第1回実行委員会	令和7年6月20日　（金）	1名
55	学校運営協議会（中原小）	令和7年6月25日　（水）	1名
56	学校運営協議会（第二中）	令和7年7月2日　（水）	1名
57	第1回人吉市地域学校協働本部会議	令和7年7月3日　（木）	1名
58	経営訪問（第三中）	令和7年7月4日　（金）	5名
59	学校運営協議会（人吉西小）	令和7年7月4日　（金）	1名
60	経営訪問（西瀬小）	令和7年7月7日　（月）	4名
61	教育長・校長合同会議	令和7年7月8日　（火）	1名
62	第4回人吉市中学校部活動地域移行検討会	令和7年7月9日　（水）	1名
63	市内校長会議	令和7年7月10日　（木）	1名
64	人吉城歴史館落成式	令和7年7月11日　（金）	4名
65	令和7年度熊本県中学校総合体育大会総合開会式	令和7年7月12日　（土）	1名
66	第1回人吉市いじめ問題対策連絡協議会	令和7年7月14日　（月）	1名
67	第1回人吉市学校給食食物アレルギー対応委員会会議	令和7年7月14日　（月）	1名
68	人吉市学校安全衛生委員会	令和7年7月15日　（火）	1名
69	第1回人吉市社会教育委員会（公民館運営審議会）	令和7年7月15日　（火）	1名
70	経営訪問（東間小）	令和7年7月16日　（水）	5名
71	第1回人吉市学校給食センター運営委員会	令和7年7月17日　（木）	1名
72	第1回人吉市文化財保護委員会	令和7年7月22日　（火）	1名
73	第1回人吉市立学校のあり方検討委員会	令和7年7月24日　（木）	1名
74	人吉市・指宿市子ども会交歓会	令和7年7月24日　（木）	1名

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
75	人吉球磨人権教育研究協議会　全体会	令和7年7月24日　（木）	1名
76	人吉市中学生みらい議会事前学習会	令和7年7月25日　（金）	1名
77	人吉球磨人権教育研究協議会　分科会	令和7年7月25日　（金）	1名
78	第19回ペタンク大会	令和7年7月27日　（日）	1名
79	犬童球渓顕彰音楽祭協議会（第2回）	令和7年7月30日　（水）	1名
80	人吉市子ども会育成連絡協議会　ビーチバレーボール大会	令和7年8月3日　（日）	1名
81	人吉市教育委員会が行う初任者研修	令和7年8月4日　（月）	1名
82	就学時の健康診断等に関する事務協議会	令和7年8月5日　（火）	1名
83	九州地区市町村教育委員会研究大会	令和7年8月21日　（木）	2名
84	犬童球渓顕彰音楽祭「個人コンクール（予選）」独奏部門	令和7年8月24日　（日）	1名
85	教育長・校長合同会議	令和7年8月26日　（火）	1名
86	総合訪問（第二中）	令和7年8月29日　（金）	5名
87	第80回熊本県民体育祭人吉市選手団結団式	令和7年8月29日　（金）	1名
88	市内校長会議	令和7年9月2日　（火）	1名
89	第2回人吉市教育支援委員会	令和7年9月12日　（金）	1名
90	人吉市PTA連絡協議会、人吉市保育園連盟、人吉市社会教育委員会合同講演会	令和7年9月13日　（土）	1名
91	第5回人吉市童話発表大会	令和7年9月28日　（日）	2名
92	人吉球磨人権教育研究協議会　第3回代表者会議	令和7年9月30日　（火）	1名
93	熊本県市町村教育長研修大会（荒尾・玉名大会）	令和7年10月2日　（木）	1名
94	小学校運動会（人吉東小・中原小）	令和7年10月5日　（日）	1名
95	経営訪問（第一中）	令和7年10月6日　（月）	5名
96	市内校長会議	令和7年10月7日　（火）	1名
97	教育長会議・教育推進会議	令和7年10月15日　（水）	1名
98	人吉市中学生みらい議会リハーサル	令和7年10月17日　（金）	1名
99	人吉球磨総合美展テープカット	令和7年10月18日　（土）	1名

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
100	人吉市人権教育推進連絡協議会　第２回運営委員会	令和7年10月20日　（月）	1名
101	総合訪問（中原小）	令和7年10月22日　（水）	5名
102	犬童球渓顕彰音楽祭「個人コンクール（本選）」	令和7年10月26日　（日）	1名
103	就学前交流事業	令和7年10月28日　（火）	1名
104	人吉文化祭前夜祭	令和7年10月30日　（木）	1名
105	人吉市中学生みらい議会	令和7年10月31日　（金）	1名
106	西瀬小学校創立150周年記念式典	令和7年11月1日　（土）	1名
107	第2回人吉市立学校のあり方検討委員会	令和7年11月4日　（火）	1名
108	経営訪問（大畑小）	令和7年11月5日　（水）	5名
109	第1回人吉市指定文化財等保存活用専門会議（人吉城跡部会）	令和7年11月5日　（水）	1名
110	市内校長会議	令和7年11月6日　（木）	1名
111	小学校社会体育運営員会	令和7年11月6日　（木）	1名
112	経営訪問（人吉東小）	令和7年11月10日　（月）	4名
113	教育長・校長合同会議	令和7年11月11日　（火）	1名
114	熊本県市町村文化財担当者連絡協議会　第63回例会	令和7年11月11日　（火）	1名
115	第2回市内教頭・主幹教諭会議	令和7年11月12日　（水）	1名
116	第5回人吉市中学校部活動地域移行検討会	令和7年11月12日　（水）	1名
117	犬童球渓顕彰音楽祭「碑前祭」「学校発表会」	令和7年11月13日　（木）	4名
118	人吉西小学校創立150周年記念式典	令和7年11月15日　（土）	1名
119	人吉市子ども会育成連絡協議会　サッカー大会	令和7年11月16日　（日）	1名
120	就学時健診（中原小）	令和7年11月17日　（月）	1名
121	第2回人吉市地域学校協働本部会議	令和7年11月18日　（火）	1名
122	第2回人吉市社会教育委員会（公民館運営審議会）	令和7年11月18日　（火）	1名
123	人吉市奨学生選考委員会（第2回）	令和7年11月21日　（金）	1名
124	人吉東小学校創立150周年記念式典	令和7年11月21日　（金）	1名

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
125	第20回ペタンク大会	令和7年11月22日　（土）	1名
126	総合訪問（人吉西小）	令和7年11月26日　（水）	5名
127	中原小学校創立150周年記念式典	令和7年11月29日　（土）	1名
128	東間校区民体育祭	令和7年11月30日　（日）	1名
129	中原校区公民館　成人講座閉校式	令和7年12月6日　（土）	1名
130	人吉市特別支援連携協議会研修会	令和7年12月9日　（火）	1名
131	第2回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和7年12月11日　（木）	1名
132	東西コミセン講座閉校式	令和7年12月13日　（土）	1名
133	西瀬コミセン　子ども講座閉校式	令和7年12月13日　（土）	1名
134	第72回人吉駅伝大会	令和7年12月14日　（日）	1名
135	第3回人吉市教育支援委員会	令和7年12月15日　（月）	1名
136	第23回ひとよし温泉マラソン第2回役員会・実行委員会	令和7年12月15日　（月）	1名
137	就学時健診（人吉東小）	令和7年12月16日　（火）	1名
138	市内校長会議	令和7年12月18日　（木）	1名
139	市内教務主任会議	令和7年12月19日　（金）	1名
140	人吉市奨学生選考委員会（第3回）	令和7年12月20日　（土）	1名
141	第73回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	令和7年12月21日　（日）	1名
142	登録有形文化財登録証伝達式	令和7年12月22日　（月）	1名
143	人吉市学校安全衛生委員会	令和7年12月23日　（火）	1名
144	人吉市カルチャーパレス利用促進委員会（第1回）	令和7年12月23日　（火）	2名
145	人吉市成人式	令和8年1月3日　（土）	4名
146	第41回人吉球磨読書感想画コンクール表彰式	令和8年1月10日　（土）	1名
147	市内校長会議	令和8年1月15日　（木）	1名
148	教育長・校長合同会議	令和8年1月19日　（月）	1名
149	第23回ひとよし温泉マラソン	令和8年1月25日　（日）	1名

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
150	第52回郡市対抗熊日駅伝　人吉市選手団結団式	令和8年1月27日　（火）	1名
151	第72回文化財防火デーに伴う消火訓練	令和8年2月1日　（日）	1名
152	市内校長会議	令和8年2月5日　（木）	1名
153	寄附金贈呈式	令和8年2月6日　（金）	1名
154	第3回市内教頭・主幹教諭会議	令和8年2月9日　（月）	1名
155	わくわくサポーターの集い 「われら人よし　活き域　学校応援団」	令和8年2月10日　（火）	1名
156	教育長・校長合同会議	令和8年2月12日　（木）	1名
157	市内教務主任会議	令和8年2月16日　（月）	1名
158	第3回人吉市社会教育委員会（公民館運営審議会）	令和8年2月18日　（水）	1名
159	第2回人吉市特別支援連携協議会	令和8年2月19日　（木）	1名
160	第3回人吉市立学校のあり方検討委員会	令和8年2月20日　（金）	1名
161	青少年育成関係　市民向け講演会	令和8年2月21日　（土）	1名
162	第6回人吉市中学校部活動地域移行検討会	令和8年2月25日　（水）	1名
163	人吉市カルチャーパレス利用促進委員会（第2回）	令和8年2月25日　（水）	1名
164	市内校長会議	令和8年3月2日　（月）	1名
165	人吉市食育推進委員会総会	令和8年3月2日　（月）	1名
166	中学校卒業式	令和8年3月6日　（金）	3名
167	第2回人吉市指定文化財等保存活用専門会議（人吉城跡部会）	令和8年3月11日　（水）	1名
168	第2回人吉市いじめ問題対策連絡協議会	令和8年3月12日　（木）	1名
169	草木山川学校（春版）	令和8年3月14日　（土）	2名
170	第3回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和8年3月16日　（月）	1名
171	人吉市小学校社会体育運営委員会 総会	令和8年3月17日　（火）	1名
172	犬童球渓顕彰音楽祭協議会（第3回）	令和8年3月17日　（火）	2名
173	人吉市総合教育会議	令和8年3月19日　（木）	5名
174	小学校卒業式（人吉東小・人吉西小・東間小・大畑小）	令和8年3月23日　（月）	4名

	会議・行事名	期　日	教育長及び 教育委員出席状況
175	小学校卒業式（西瀬小・中原小）	令和8年3月24日　（火）	2名
176	人吉市体育施設事故防止対策審議会	令和8年3月24日　（火）	1名
177	第2回人吉市指定文化財等保存活用専門会議（大村横穴群部会）	令和8年3月26日　（木）	1名

２　点検及び評価の目的

平成１９年６月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成２０年４月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検及び評価」が位置付けられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

３　学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について３名の学識経験者から様々な御意見、御助言をいただきました。

〔学識経験者〕

安達　貴美子　氏	元小学校校長
迫田　洋子　氏	元市役所職員
宮﨑　正幸　氏	市ＰＴＡ連絡協議会推薦

４　点検及び評価の対象

令和７年度中に人吉市教育振興基本計画に基づき実施した８事業について、点検及び評価を行いました。

〔人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業〕

課　名	点検及び評価を行う事業
学校教育課	人吉市学校施設ＬＥＤ照明器具賃貸借事業
	医療的ケアを要する児童生徒への看護師派遣事業
	学校給食事業
社会教育課	人吉市地域学校協働本部事業
	スポーツ施設整備事業
文化課	犬童球渓顕彰音楽祭事業
	人吉城歴史館運営事業
	人吉市童話発表大会

５　点検及び評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価をＡ～Ｄで表し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

（１）総合評価基準

区分	評価結果に基づく改善等の内容	内容の詳細
A	継続して管理･運営を進めることが適当	特に問題もなく進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。
B	事業の進め方を改善検討し、事業は継続	進捗状況は順調であり、事業内容にも意義があるため継続が望ましいと判断できるが、事業の進め方等に改善の余地があるもの。
C	事業規模・内容、または実施主体の見直しを検討	進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。
D	事業の抜本的見直し、休･廃止の検討	進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。

（２）点検評価シート（８事業）

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和7年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	人吉市学校施設ＬＥＤ照明器具賃貸借事業					
2	担当課名	学校教育課			担当者	山本　研央	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	市内各小中学校の児童・生徒、及び教職員、学校施設を利用する市民
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	本事業は、学校施設の既存照明設備をLED照明器具へ交換し、消費電力を削減することにより、温室効果ガスの排出抑制を図るとともに、電気料金及び修繕費用等の財政負担の軽減並びに維持管理に要する事務負担の軽減を図ることを目的として実施するものである。
6	事業の概要	事業方式については、事業期間の短縮や財政負担の平準化を図る観点から、メンテナンスリース方式によるものとし、現地調査の実施や計画、施工、維持管理等に関し、ノウハウを有する民間事業者から提案を受け、選定した受託事業者とリース契約を締結のうえ、本事業を実施した。

				令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
7	コスト	年度				
		合　計		0千円	0千円	12,266千円
		財源内訳	①　国庫補助金			
			②　県補助金			
			③　起　債			
			④　その他			
			⑤　一般財源	0	0	12,266

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	蛍光管からLEDへの切替え工事をリース契約として実施したことにより、財政負担の平準化が図られ、今後１０年間の照明器具の計画的な管理が可能となった。 人吉東小学校　器具６７８基　ランプ１２３３個 人吉西小学校　器具９７６基　ランプ１４７０個 東間小学校　器具５３０基　ランプ８９２個 大畑小学校　器具３５９基　ランプ５５５個 西瀬小学校　器具４６２基　ランプ７３８個 中原小学校　器具５０７基　ランプ７７５個 第一中学校　器具１２３８基　ランプ１９８９個 第二中学校　器具８７８基　ランプ１３１９個 第三中学校　器具３１８基　ランプ５００個
9	今後の課題や改善等	令和７年度に設置した人吉市立学校のあり方検討委員会では、概ね２年後までに市立学校の統廃合等の方向性を見出すことを目標に進めているが、あくまでも今後の方向性であり、学校施設の場所や改修方法等については別に検討していく必要があるため、学校の統廃合が実現（施設改修や新規建設等も終了）し、実際に教育活動がスタートするのは何年後になるのかは現段階でゴールを示すことは困難である。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		A	児童生徒の学習環境の維持を図り、なおかつ照明器具の不具合による取替等の負担感の軽減及び電気料金の削減には大きな効果が見込まれる。一方で学校施設のLED照明のリース期間が10年と中長期にわたるため、保守費用については、現在進めている人吉市立学校のあり方検討委員会等の動向を注視しながら、学校施設の今後の利活用方法を総合的に議論をしていく材料となる。その際には、学校体育館は市民の方への貸し出しや社会体育活動での利活用、そして災害時の避難所としての活用を想定して検討していかなければならない。 なお、リース期間中の修繕や部品交換等は全て無償であり、リース期間中に耐用年数（概ね５年）を迎えた場合も最低２回は新品に交換することができ、リース期間満了後は無償譲渡されることとなっている。

学識経験者の意見

11	○多額の費用を要したLEDへの切り替えリース契約や照明器具の交換等であるが、この時期にできたことは今後の経費削減にも役立っていると考える。 ○消費電力を削減するため、LED照明器具に交換して、今後の電気料金及び修繕費用の削減につながり、大変ありがたい。 ○本事業の実施により、大幅な電気料金等の削減が実現でき、財政負担や維持管理に要する事務負担の軽減が図られたことから、大きな成果が得られたものと評価できる。 ○学校設備以外の社会教育施設や文化施設でもLEDへの切り替えを進めてほしい。 ○子供や教職員の視力低下の防止に有効であったと評価できる。

教育委員会の評価

	総合評価	
12	A	国際条約に基づく2027年末の蛍光ランプ製造等の全面停止を見据え、将来のリスクを回避した本事業の先行的な取組みは評価できる。特に全小中学校を対象としたメンテナンスリース方式の採用は、迅速なLED化による期間短縮と財政負担の平準化を両立させ、修繕無償や満了後の無償譲渡を含め、市にとって最適な選択であったと言える。 今後は従来の蛍光灯と比較した電気料金や修繕費の増減、器具の交換頻度などのデータを注視し、客観的な効果検証を行うことが求められる。また、予算やリース料の詳細に関する中長期的な見通しの情報共有も望まれる。他の教育施設への展開と継続的な効果検証も期待したい。

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和7年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	医療的ケアを要する児童生徒への看護師派遣事業					
2	担当課名	学校教育課			担当者	杉本　吏奈	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	市内各小中学校の児童・生徒
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	医療的ケアが必要な児童生徒を支援するため、学校に看護職員を派遣し、日常的な医療的ケアを適切に実施することで、学校における医療的ケアの環境整備の充実を図り、医療的ケアを必要とする児童生徒が、他の児童生徒と同様に豊かな学びを享受できる環境を整備することを目的として実施するもの。
6	事業の概要	医師会と契約し、医療的ケアを日常的に必要とする児童に対し、学校教育活動時間中に看護職員を配置し、各学級において安全かつ安心して学校生活を送るために医療的ケアを実施。

				令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
7	コスト	年度				
		合　計		0千円	1,577千円	3,953千円
		財源内訳	①　国庫補助金		525	1,317
			②　県補助金			
			③　起　債			
			④　その他			
			⑤　一般財源		1,052	2,636

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	対象児童：１名、医療的ケア内容：導尿　１回／日 支援実績（令和７年４月～令和８年３月） ４月：１３回、５月：１６回、６月：１６回、７月：１３回、８月：２回、 ９月：１９回、１０月：１５回、１１月：１３回、１２月：１７回、１月：９回、 ２月：１３回、３月：１４回　　計：１６０回 登校日は毎日１１時に導尿を実施した。 尿路感染症に注意が必要だが、１年間、尿路感染することなく、腎臓機能にも異常が見られず安全に実施することができた。
9	今後の課題や改善等	学年進行に伴い、導尿回数が増加するため、実施時間の確保が課題となってくる。 また、プライバシー意識が高まってくるため、安全性の確保に加え、人目に触れない環境整備などプライバシーに最大限配慮した実施環境の提供が必要になってくる。 さらに、遠足や修学旅行などの校外活動では、導尿に適した清潔でプライバシーに配慮した場所の確保が課題となるため、事前の調整と学校外での衛生管理方法の確立が必要となる。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		A	医療的ケアを必要とする児童が、看護職員の専門的なサポートを受けながら、安全かつ安心して学校生活を送ることができている。これにより、医療的ケアを理由とした学習機会の逸失が解消され、他の児童と同様の教育を受ける機会が確保されている。 また、医療的ケアの実施においては、看護職員が医師の指示に基づき、細心の注意を払ってケアを提供しており、これまで重大な事故等発生していない。 さらに、教職員（養護教諭、担任等）、看護職員、保護者、かかりつけ医との間で、密な情報共有と連携が図られており、児童の健康状態やケア内容に関する情報がスムーズに共有され、必要に応じた迅速な対応が可能な体制が確立されている。

学識経験者の意見

11	○医療的ケアが必要な児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、今後も看護職員の配置をお願いしたい。 ○その他の環境整備についても経費がかかると考えられるが、国庫補助金等の継続的な確保をお願いしたい。 ○医療的ケアを理由とした学習機会の逸失が解消され、安全かつ安心して学校生活を送れる環境が整う素晴らしい事業であり、インクルーシブ教育の推進にもつながる。 ○とても柔軟な対応をしていただいている。各個人で支援の形が違うが、学校外活動（社会科見学など）の対応をお願いしたい。

教育委員会の評価

	総合評価	
12	A	本事業は、医療的ケア児の生命と健康を守りながら学習機会を保障し、インクルーシブ教育を実践する極めて意義深い施策である。関係機関や保護者と連携し、重大事故なく安全に初年度を乗り越えられたことは大きな成果である。 今後は単年度の対応にとどまらず、対象児の見込みや必要なケアの把握、それに伴う体制や看護技術の向上など、中長期的な視点に立った計画構築が求められる。また、次年度以降の予算規模や他市町村の実施状況など、詳細な情報共有があればより客観的な評価につながる。 共生社会の実現に向けた有益な取組みとして、今後は持続的で安定的な支援体制の確立と事業推進を期待したい。

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和7年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	学校給食事業					
2	担当課名	学校教育課			担当者	宮永　めぐみ	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小・中学校の児童・生徒及びその保護者
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	給食食材の高騰に伴い、現在の給食費では児童生徒の給食の質を保つことが困難な状況になっている。１食当たりの給食費を改定した。
6	事業の概要	近年の物価高騰に伴い、現在の給食単価では児童生徒の成長に必要な質や量を保つことができない状況になったため、令和６年度に引き続き増額改定をおこなった。給食単価の値上げに対し、高騰分は市が負担し保護者負担分は据え置くことで、負担軽減を行った。※前回改定時の単価と令和６年度の単価を比較し上昇率を算出。 また、熊本県が発表する消費者物価指数についても、比較により上昇率を算出。

		年度	令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
7	コスト	合　計	133,820千円	138,660千円	142,149千円
	財源内訳	①　国庫補助金			
		②　県補助金			75,430
		③　起　債			
		④　その他	97,690	98,069	17,083
		⑤　一般財源	36,130	40,591	49,636

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	本来であれば、給食にかかる食材費は保護者が負担しなければならないが、食材費高騰分については補正予算（増額要求）で対応し、量質ともに安定した給食を提供することができた。 ・給食実施人員（令和７年５月１日現在、教職員含む） 小学校　1,554名　中学校　872名　合計　2,426名 ・年間給食回数　小学校184回　　中学校180回 ・給食費単価　　小学校280円/食（R6年度266円）（R5年度241円） 中学校327円/食（R6年度310円）（R5年度282円） ・年間給食費　　小学校51,520円（184回×280円）うち市負担18,032円 中学校58,860円（180回×327円）うち市負担19,080円 ・保護者負担額　小学校33,488円（184回×182円）※増額なし（据え置き） 中学校39,780円（180回×221円）※増額なし（据え置き）
9	今後の課題や改善等	食材費の物価高騰に伴い、今後においても給食単価を精査し、献立作成がスムーズにできるようにしたい。

事業の評価と今後の事業計画			
	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	物価高騰は今後も続く見込みであり、上昇幅はさらに大きくなる可能性がある。 また、令和８年度からは学校給食費が無償化（人吉市は、全ての市立小中学校）された。引き続き、給食の質や量を落とすことのないようおいしい学校給食の適正な運営に努めていく。

学識経験者の意見	
11	○学校給食は、子供たちの成長にとって大変重要である。食材の高騰により、栄養面にも見た目にも充実した給食の提供が必須である。 ○今後も食材費を市で負担してもらい、よりよい学校給食を提供してほしい。 ○物価高騰のなか、保護者負担を増額することなく、据え置きで対応された事で、保護者の負担軽減が図られた。 ○安定した給食事業の実施は、子供たちの発育や食育の観点からも重要な事業であり、今後も適正な運営をお願いする。 ○給食無償化はありがたい。物価高騰の中、質・量を落とさず学校給食を提供していただくことは、非常にありがたい。

教育委員会の評価		
	総合評価	
12	B	物価高騰が続く中、補正予算の活用や国・県・市一体となった給食費の無償化により、保護者の負担なく安定した給食を提供したことは子育て支援の面から高く評価できる。栄養や美味しさ、アレルギー対応など安全な運営に尽力する現場の努力にも敬意を表したい。 一方で、今後の運営には改善の余地もある。質と量を維持するための単価上昇率や実際の給食への影響、必要財源に関する詳細な資料が示されれば、より客観的な評価につながる。 補助金等の予算枠内で質を落とさず安定供給するための新たな運営方策や、中長期的な持続可能性を見据えた検討に注力することが望まれる。

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和7年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	人吉市地域学校協働本部事業					
2	担当課名	社会教育課			担当者	松鳥　泰代	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内小中学校の児童・生徒、それに関わる地域の方
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	「社会に開かれた教育課程」を実現させるため、五者連携によるコミュニティスクールと地域学校協働活動を一体的に推進する。特に「学校から地域へ」の協働活動に積極的に取組み、子供たちが地域に出る「地域貢献型の活動」につなげ、学校の内外で多くの世代の方々と触合う機会を創出し、その学びや成長につなげる。
6	事業の概要	市内全ての小中学校で、地域学校協働活動を推進するために、本市における本部の下に、中学校区毎の支部を設置する構成としている。この各支部に地域学校協働活動推進員（コーディネーター）を１人ずつ配置している。 地域学校協働活動推進員（コーディネーター）が、学校と地域の橋渡し役となり、わくわくサポーターの確保を行いながら協働活動を推進する。

				令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
7	コスト	年度		令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
		合　計		8,661千円	9,543千円	9,468千円
		財源内訳	①　国庫補助金			
			②　県補助金	198	198	184
			③　起　債			
			④　その他			
			⑤　一般財源	8,463	9,345	9,284

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	令和7年度は「学習支援、学校行事、部活動、生活安全確保、環境整備」の分野において665回、のべ2,837人のわくわくサポーターの皆様に活動をしていただいた。 この中には、三中校区内の国道で地域の方へ挨拶をするという「学校から地域へ出る」活動や、民生委員児童委員協議会からの要請で実施した、一日こども民生委員体験、和楽器奏者からの要請で尺八との合奏など「地域から学校への要請を受けた」活動の実施が７回含まれている。 また、なかはら校区福祉まつりなど、児童生徒が学校外でボランティア活動に参画する「地域からの依頼」が3回あり、のべ20人の児童生徒が参加した。 これらの「双方向の活動」は昨年と比べて増加しており、子供たちの生きた学びが地域の活性化につながったものと考える。 本年度サポーターの新規登録が28名あり、令和8年3月末日現在での登録者数は 462人。団体登録では、新たに1団体に登録いただき、現在は12団体137人となっている。
9	今後の課題や改善等	課題であった「地域と学校の双方向での連携・協働」について、活動を実施することができたが、学校外の活動について児童生徒の参加者がまだ少ない状況である。周知方法などに工夫が必要である。 また、わくわくサポーター確保においても、ＰＴＡにも声掛けを行ったが、50歳代以下の若手世代サポーターが少ない状況であるため、継続した呼びかけが必要である。

事業の評価と今後の事業計画			
	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		A	「地域と学校の双方向での連携・協働」について、各校区支部において「双方向」の取組みが増加した。また、わくわくサポーターの確保については、民生委員・児童委員の皆様などに特に力を入れて協力していただいているほか、団体登録にも力を入れており、学校からの様々な要請にも対応できたことから、評価として「A」を選択した。 今後も引続き「双方向」の取組みを推進し、学校外での活動については、児童生徒に興味を持ってもらえるよう周知を行う。 また、わくわくサポーターの若手世代の確保については、引き続きＰＴＡに声掛けをするほか、若手世代が参加し易い（年１回の参加でも良いといったような）仕組みづくりを検討する。

学識経験者の意見	
11	○わくわくサポーターの活動回数や活動延べ人数の多さから、どの学校でも活用している様子がうかがえる。活動の枠も多岐にわたっているようで、大変ありがたいことである。 ○福祉まつりや学校外のボランティア活動への児童の参加もあり、本来の双方向の連携、協働が実現している様子で、今後も双方向の活動がさらに増えていくことを望む。 ○「双方向の活動」が前年比で増加したことは、大きく評価できる点であり、本事業の目的達成に意義あるものと考える。 ○50歳代以下のサポーターが増えていくよう、呼びかけを行ってほしい。 ○今後の「双方向」の取組みの推進とともに、学校外での活動の周知方法として、ＳＮＳ活用を検討してほしい。 ○少しずつ申請・要請の仕組みが出来上がっていると感じている。地域のまつりや伝統行事に子供たちが参加できるような取組みを検討してほしい。

教育委員会の評価		
	総合評価	
12	B	本事業は、地域学校協働本部や支部設置、推進員の配置、サポーターの確保などにより、教育課題の解決や社会に開かれた教育課程の実現に向けた重要な施策として評価できる。サポーター数等の増加や双方向の連携は、児童生徒の学びの向上や郷土愛の育成、地域活性化に大きな成果を上げている。 今後は「学校から地域へ」の協働活動や地域貢献型活動の強化、データ共有による他地域への波及、ニーズ把握等へのWEB活用が求められる。また、若年層のサポーター登録など持続的な体制づくりにも課題がある。 こうした課題の解決に向け、五者連携の発展や子供たちが主体的に地域に関わる仕組みづくりを期待したい。

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和7年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	スポーツ施設整備事業					
2	担当課名	社会教育課			担当者	森山　和宏	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		12	スポーツの振興

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	施設利用者（市民及び市外住民）
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	本市におけるスポーツ施設は、市民の心身の健康増進と体力向上を図り、生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境を提供することを目的としています。 児童生徒の運動能力の向上や、大人世代のスポーツ活動の推進、高齢者の介護予防など、全ての市民がそれぞれのライフステージに応じた活動を安全に楽しめる施設環境づくりを目指しています。
6	事業の概要	スポーツ施設の整備・改修等

7	コスト	年度		令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
		合　計		65,129千円	15,002千円	95,052千円
		財源内訳	①　国庫補助金	17,380		
			②　県補助金			
			③　起　債	46,100	9,200	51,564
			④　その他			30,036
			⑤　一般財源	1,649	5,802	13,452

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	令和７年度は、修繕１件、樹木剪定１件、改修工事２件、備品購入１件、トイレの洋式化工事に伴う設計業務１件を実施した。 具体的な整備等事業は以下のとおり。 ・スポーツパレス外壁タイル修繕 ・人吉市射撃場樹木剪定業務委託 ・スポーツパレス小アリーナ屋根修繕工事 ・スポーツパレス大アリーナ非常用バッテリー及び照明器具取替工事 ・川上哲治記念球場備品購入 ・スポーツパレストイレ洋式化工事設計業務委託
9	今後の課題や改善等	スポーツ施設の維持管理については、「人吉市体育施設個別施設計画」を基に、指定管理者である人吉市スポーツ協会と協議し、優先順位を設け計画的に対応しているが、各施設共に老朽化が進んでいることから、突発的な改修等への対応を先に進めることとなり、計画的に進めることができないことが課題である。 とはいえ、今後、照明設備のＬＥＤ化工事や、大規模改修が必要な施設もあり、計画的に改修・整備を図る必要がある。令和８年度以降、突発的な事案等に対応できる修繕費等の予算確保に努め、施設の長寿命化に努める。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	令和７年度スポーツ施設整備事業については、応急的な対応が主であったが、大規模な施設整備事業については過疎対策事業債を活用し、財政負担の軽減に努めていることから、評価として「Ｂ」を選択した。 ただし、スポーツパレストイレ洋式化工事設計業務委託に関しては、長年の課題であったトイレ洋式化工事を令和８年度に行い、財源についてもスポーツ振興くじ助成金の活用を計画しており、計画的な施設整備・維持管理に努め、利便性の向上に寄与するものである。 引き続き、施設の長寿命化や利便性向上のための環境整備など、計画的な整備に努めるとともに、大規模事業については、過疎対策事業債や国庫補助金、スポーツ振興くじ助成金の活用に努めることで、持続可能な行政経営に努める。

学識経験者の意見

11	○体育施設の個別施設計画に基づいて、改修、修繕等を実施していることは、大変ありがたい。 ○体育施設は、安全性を確保するために、突発的な対応が求められることが多々起きるが、修繕等は不可欠である。 ○人吉市体育施設個別施設計画に基づく施設の長寿命化・維持管理について、財政部局等と連携のもと、財源確保に努めていただき、市民の安全安心なスポーツ活動の環境整備を図ってほしい。

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	本事業は、市民の利便性・安全性や健康増進に寄与する意義深い事業として高く評価できる。多くの自治体が施設の老朽化や財政問題に直面する中、各種助成金を積極的に活用して財政負担を軽減し、計画的かつ優先順位を意識して整備・改修に取り組んできた姿勢は非常に適切である。 今後の事業展開では、さらなる経年劣化が進む施設に対し、費用対効果も十分に視野に入れた優先順位の精査と、それに基づいた計画的な改修を一層進める必要がある。 限られた財源の中で財政負担の最適化を図りつつ、安全で持続可能なスポーツ環境の整備・維持に向けた事業運営を継続・発展させていくことを期待したい。

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和7年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	犬童球渓顕彰音楽祭事業					
2	担当課名	文化課			担当者	塩谷　達郎	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		10	市民芸術・文化の振興と継承

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	市民、音楽祭出場者及び参加者並びに観客			
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	「故郷の廃家」「旅愁」をはじめ、600余編の作詞作曲をされた故犬童球渓先生の偉業を顕彰するため、小学生・中学生・高校生及び一般市民の参加を得て音楽祭を開催し、地域文化の振興・普及に寄与する。			
6	事業の概要	1　個人コンクール：小中高校生による独奏・独唱のコンクール。 ８月に予選、１０月に本選を実施。 2　碑前祭：犬童球渓先生銅像前にて「旅愁」「故郷の廃家」斉唱､献花を行う。 （当日雨天により人吉スポーツパレス 大アリーナに会場を移して開催） 3　学校発表会：人吉球磨の学校による合唱、合奏や吹奏楽の音楽発表会。 併せて、個人コンクール「球渓賞」受賞者による演奏披露を実施。 4　音楽のひろば：人吉市内の音楽団体、主催者が招待する音楽団体及び公募により世代を超え結成する「特設合唱団」による演奏披露。			
7	コスト	年度	令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
		合　計	4,068千円	4,371千円	5,603千円
		財源内訳 ①　国庫補助金			
		財源内訳 ②　県補助金			
		財源内訳 ③　起　債			
		財源内訳 ④　その他	2,700		
		財源内訳 ⑤　一般財源	1,368	4,371	5,603

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	1　個人コンクール　出場数　予選：60人（77人）、本選：35人（35人） 2　碑前祭　参加数　小中：　5校（4校）、331人（243人） 3　学校発表会　参加数　小中高：24校（27校）、1,178人（1,396人） 4　音楽のひろば　出演数　7団体（7団体）、110人（107人） ※　括弧内は前年度実績
9	今後の課題や改善等	カルチャーパレス大ホールが吊り天井耐震問題で使用できなくなり、同施設小ホールやスポーツパレス大アリーナへの会場変更を余儀なくされている。特に学校発表会の会場であるスポーツパレス大アリーナは音響や舞台設備が不十分で、準備に多大なマンパワーが必要となっている。 事業完了後は、「学校発表会」及び「音楽のひろば」の両実行委員会、並びに犬童球渓顕彰音楽祭協議会において振り返りを行い、各種意見等を踏まえ改善を図る。さらに、令和８年度は「第８０回記念」を迎えることから、歴史ある本音楽祭の節目にふさわしい、充実した内容の実現に向けて鋭意取り組む。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	人吉市が誇る「犬童球渓」先生を顕彰するために始まったこの歴史ある音楽祭は、昭和２２年を初回とし永年にわたり受け継がれ、「個人コンクール（独唱・独奏）」に始まり、「碑前祭」「学校発表会」と続き、「音楽のひろば」でフィナーレを飾る本市の秋の風物詩として市民への定着が図られてきた。今後も確実に守り受け継ぐべき優先順位の高い事業と捉えている。 各事業の展開において、「個人コンクール」は南九州を代表する催しへの発展を目指し、「碑前祭」「学校発表会」では音楽を通した学びから郷土愛を育み、そして、子供から大人まで世代を超えた交流による相互成長の機会である「音楽のひろば」を含めた本事業全体を通じ、市民力の源泉となる人吉文化の創造と継承を目指す。

学識経験者の意見

11	○第80回を迎える犬童球渓顕彰音楽祭は、全国的にも希有な音楽祭であり、これまで継続できていることは行政と市民が一体となって誇りや思いを伝えてきたからだと感慨深いものがある。今後も市民に広く伝え、内容の充実と犬童球渓先生の功績と作品の紹介、伝導を行い、９０回、１００回と続く音楽祭にしてほしい。 ○令和７年度事業において、個人コンクール予選の出場数や学校発表会の参加数が前年度より減少している状況。少子化や人口減少の中ではあるが、本事業は後世に受け継ぐべき優先順位の高い事業であることから、各実行委員会や犬童球渓顕彰音楽祭協議会と連携しながら、出場数・参加数の確保に向けた取組みをしてほしい。 ○個人コンクールのあり方を検討し、より多くの参加者が集うコンクールにしてもらいたい。 ○学校発表会も参加校が減少しつつある。魅力的な会にしていく工夫をし、より多くの小中高校が集う犬童球渓顕彰音楽祭にしてもらいたい。 ○動画配信（視聴限定）の実現も困難ではあるが、引き続き検討してほしい。

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	本事業は、犬童球渓先生の偉業を顕彰し、地域の文化振興に寄与する歴史ある重要な事業として高く評価できる。記念すべき第80回を迎えた背景には、関係者の多大なる尽力と継続的な取組みがあり、心から敬意を表したい。 少子化による部活動の減少など音楽祭を取り巻く環境は厳しさを増している。今後の持続的発展には、学校発表会の会場課題の解決や個人コンクールの知名度向上、観覧者増に向けた方策の模索が必要である。さらに、創意工夫による音楽祭の維持に加え、近隣イベントとの連携や音楽WEEK（公開レッスン・楽器体験等）の開催など、新たな発想による事業の活性化にも期待する。 厳しい社会環境の変化に対応し、地域に親しまれる音楽祭を目指した計画的な運営を望みたい。

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和7年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	人吉城歴史館運営事業					
2	担当課名	文化課			担当者	岸田　裕一	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		11	歴史文化遺産の保存と活用

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	市民、史跡来訪者、観光客
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	史跡人吉城跡のガイダンス施設としての役割のほか、学校や地域の連携のもと、郷土の歴史学習支援および魅力発信拠点として、その機能を充実させ、市民や来訪者の歴史学習に寄与する。
6	事業の概要	○魅力ある常設展示・企画展示の推進 ・企画展「おかえり　ふるさとの宝物展」の開催（10月～12月） ・体験展示期間中の甲冑着付体験実施（6月～9月） ・施設リーフレット、人吉城跡パンフレットの作成 ○歴史学習支援及び歴史文化情報発信機能の充実 ・市教育委員会主催歴史講座の開催 「人吉球磨の宝箱展に寄せて」講師：九州国立博物館職員 「被災文化財の保存修復-女乗物を中心に-」講師：元興寺文化財研究所職員 ・SNSによる情報発信

7	コスト	年度		令和6年度（実績）	令和7年度（実績）	令和8年度（見込）
		合　計		232,106千円	15,648千円	20,016千円
		財源内訳	①　国庫補助金	141,305		
			②　県補助金	11,604		
			③　起　債			
			④　その他	61,500	3,144	3,899
			⑤　一般財源	17,697	12,504	16,117

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	令和７年７月11日から令和８年３月31日までの開館期間（開館日数221日）中、延べ10,062人の来館者を迎え、1日平均では45.5人に来館いただいた。 学校教育との連携においては、人吉球磨圏内の小中学校（人吉東小学校、東間小学校、免田小学校、須恵小学校、第一中学校、第二中学校）計６校306名に来館いただき、社会科見学や地域理解等で施設の見学が行われた。この他に人吉市・指宿市こども交歓会や、学童クラブ、町内子ども会での利用もあった。 市民への歴史学習支援として人吉城歴史館企画展や石野公園で開催した「人吉球磨の玉手箱」パネル展と連動した講座を人吉城歴史館研修室において実施。この他に、熊本県文化課および熊本博物館ネットワーク協議会主催（人吉市教育委員会共催）の講座を２回実施し、各回とも30名の定員が満席となる盛況であった。また、夏休み体験イベントとして、ウンスンかるた体験会を実施し23名の参加があった。
9	今後の課題や改善等	リニューアルオープン後の施設の更なる周知を図るため、より広範な情報発信を推進する。特に、観光団体と連携した誘客活動を強化し、来館者の裾野を広げる必要がある。また、学校教育との連携を一層深化させるための仕組みを構築するなど、連携の基盤を強固なものとする必要がある。市民に対する歴史学習の支援では、多様な歴史講座や関連イベントの開催を検討し、施設が市民にとって生涯学習の場として、より活用される仕組みづくりに取り組む必要がある。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	総合計画に掲げるKPI（令和９年度：年間来館者数16,500人）の達成を目指し、特に旅行会社等の観光団体への周知方法を検討するとともに、魅力向上に資する企画展示等の立案、実施に努める必要がある。 学校教育との連携について、例年、新規採用教職員の初任者研修時に人吉城歴史館の周知を行っているが、こうした取組みを継続して行うなど、市内小中学校全てが施設の利用が行われるよう仕組みづくりを構築し、学校現場に働きかけを行う必要がある。 また、市民が身近に歴史を学び、地域の歴史文化へ愛着を深められるよう、多様な歴史講座や関連イベントの開催を検討する。特に施設の展示品と関連がある講座を行うなど、興味をもたれる企画力が問われる。 SNS等による情報発信を通じて、歴史学習の拠点として人吉城歴史館を活用する必要がある。

学識経験者の意見

11	○リニューアルオープンしてから、１日平均45.5人とかなり多くの来館者で、歴史館の内容の奥深さと重要性を感じた。 ○引き続き各講座や体験イベント等を活発に行い、さらに魅力を感じる歴史館にして、国内外への周知に努めてほしい。 ○人吉球磨の全小中高校生に学校行事等を活用し来館する呼びかけをし、人吉球磨の歴史的価値を認識し、地域に誇りを持てるような子供たちを育ててほしい。 ○令和７年７月のリニューアルオープンから、意欲的に施設の周知・情報発信に努められ、史跡人吉城跡のガイダンス施設としての機能が見事に復活した。 ○学校教育との連携や、市民への歴史学習支援としても十分にその役割を果たせている。 ○ＳＬのイベントに絡めた企画や矢岳駅のＳＬのＰＲ等も検討してほしい。

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	豪雨災害からの施設復旧を経てリニューアルオープンを果たし、市民や観光客を受け入れたことや、史跡人吉城跡のガイダンス施設として歴史や文化に触れる機会を創出してきた点が高く評価でき、水害からの復活は市の歴史文化を大切にする姿勢を示すことができた。 一方で、さらなる魅力向上や来館者増に向け、小中学校の利用促進など学校教育との連携強化、団体利用の促進、情報発信の工夫、広く企画を公募する検討も必要である。さらに、人吉城跡を眺められる居場所づくりや滞在環境・企画の充実、いまだ解決されていない謎の地下室遺構の魅力を前面に出したPRによる話題づくりにも期待する。

点検評価シート ＜自己点検評価用＞　（評価対象：令和７年度事業）

事業名・担当部署

1	事業名	人吉市童話発表大会					
2	担当課名	文化課			担当者	田中　芳博	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容

4	誰のために行うか〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内の小学生及び保護者
5	何のために行うか〔目的・ねらい・コンセプト〕	子供たちに対し、童話に親しむと共に創作活動を活発にする機会を与え、読書意欲の向上や豊かな人間性と表現力の育成を図るため。
6	事業の概要	第５回人吉市童話発表大会（開催日：令和7年9月28日（日）） 主催：人吉市教育委員会 共催：人吉市内小・中学校長会、人吉市PTA連絡協議会 １．市内各小学校へ周知依頼し、市ホームページ等により公募のうえ、小学生を対象とした低学年、中学年、高学年の部で構成する童話発表大会。 ２．童話（日本、外国、創作もの）や昔話などを、1～2年生は5分以内、3～6年生は7分以内で発表。会場はカルチャーパレス小ホール。 ３．本大会では、最優秀賞、人吉市内小・中学校長会長賞、人吉市PTA連絡協議会長賞を各1名に授与した。その他の発表者に優秀賞を授与。全出場者に図書カードを贈呈した。さらに取り組みなど優秀な学校に対し、教育長賞を授与した。

				令和6年度（実績）	令和７年度（実績）	令和8年度（見込）
7	コスト	年度				
		合　計		89千円	134千円	101千円
		財源内訳	①　国庫補助金			
			②　県補助金			
			③　起　債			
			④　その他			
			⑤　一般財源	89	134	101

事業の成果と課題

8	成果・実績【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	●広報紙、市ホームページ、SNS等の複数媒体を活用し広く周知し、特に1年生（7人）の初参加者が増加した。 ●第４回大会から出場者全員に図書カードを贈呈しているが、参加動機の向上につながると第5回大会出場児童の保護者からも好評であった。 ●出場者数が過去最高の19名を記録した。（推移：令和4年度 10名→ 令和5年度 8名→ 令和6年度 14名→令和7年度 19名。） ●教育長賞の新設により、観客数が68名から94名に増加した。読書活動における本大会への関心が広がり、児童の達成感につながった。 ●最優秀賞受賞者は4年連続出場で、継続的な成長が確認できた。全出場者が保護者との練習を重ね、個性ある発表を行い、94名の観客に感動を与えた。児童の表現力育成と読書意欲向上に寄与する事業として機能している。
9	今後の課題や改善等	少子化が進む中、児童の減少により、出場者も減少していくことが予想される。このような状況下において、本大会開催の周知強化と、児童が「出場したい」と思える環境づくりに努めるとともに、表彰制度の改善や図書カード予算の増額など、創意工夫を重ねながら、児童及び保護者が「参加して良かった」と実感できる大会を目指していく必要がある。

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	今後の課題や改善等を踏まえ、SNSやポスター等を活用した情報発信による大会の周知徹底、また、図書館と学校の連携の強化を図り、「本市独自の童話発表大会」が子供の自発的、積極的、持続可能な読書活動につながるように大会を継続し、伝統ある大会になることを目指していく。 なお、以前から委員の御意見である大会のオンライン配信について、個人情報保護法や著作権への対応が課題であるため「B」とした。 【令和８年度大会の改善点】 ●出場者全員へ贈呈する図書カード1,000円分について、図書購入価格に鑑み2,000円分に変更。 ●出場者数を鑑み、予選会を廃止し、本大会のみ実施に変更。 ●継続参加への動機づけ、公平性の観点から、優秀賞を各部門１名に変更し、その他の出場者に対し、新たに努力賞を設けた。

学識経験者の意見

11	○第5回童話発表大会を参観し、参加者と参観者が一体となった、温かな雰囲気の発表大会だったと感じた。 ○図書カードの増額や優秀賞等の賞を設けるなどの工夫があり、参加者の増加につながった。今後もこのような取組みを進め、参加者の増加に努めてほしい。 ○出場数が過去最高となり、大会告知の努力が結実したものと思われる。 ○大きな課題である「参加者数の増加、とりわけ、新規参加者の増」について、各小学校とのより一層の連携強化が必要と考える。 ○動画配信（視聴限定）については、引き続き検討してほしい。

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	積極的な周知や関係機関との連携により、出場者数が過去最高を更新し、小学1年生の参加者増につながった点や、特別賞の新設で観客数や児童の達成感が高まった点は評価できる。図書カードの贈呈も参加意欲を高める良い方策であった。 今後のさらなる発展に向け、暗唱部門に限定せず創作や音読など部門を広げ、全員が本に親しめる環境づくりが求められる。また、物質的報酬に代わる賞賛の仕組みや継続的な取り組みへの深化、将来的な動画配信を見据えた個人情報や著作権等の安全な情報発信の仕組みづくりも急務である。 関係機関と連携を強め、全ての児童が読書や発表活動に楽しく親しめる持続可能な大会運営を期待したい。

《 基 本 理 念 》

将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人として生きる力を育み、

心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる人づくり

《 教 育 目 標 》

Ⅰ 「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育を推進します。

Ⅱ 家庭・地域の教育力の向上と協働の推進

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、学校、家庭、地域社会が協働・連携して地域全体で子どもを育む環境づくりを推進します。

Ⅲ 生きがいを持って活躍できる生涯学習とスポーツ環境の整備

市民一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、生涯にわたって自発的に学び続けることを通して、生きがいを持って活躍できる生涯学習・スポーツ環境の整備を推進します。

Ⅳ 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、市民が文化芸術に触れる機会や体験を通じて、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境整備を推進します。